

令和8年2月17日(火)
四街道市 報道発表資料



千葉県の笑くほ

「みんなでつなぐ食と農のみらい」を開催します －「食」と「農」が支え合うあたらしいかたち－

四街道市内で、CSA(地域支援型農業)と農福連携をテーマにした講演会を開催します。

「食」と「農」を「福祉」でつなぎ、地域の中で支え合いが回るしくみを育てていく取り組み(nof!)に関して、講師講演に加えて、市内で進む実践の紹介やトークセッションも予定しています。

■日時 令和8年2月20日(金) 14時～16時30分(13時30分開場)

■場所 四街道市文化センター 3階 301・302号室
※参加費無料

■内容 ・講演「みんなでつなぐ食と農のみらい」
(講師:千葉商科大学 准教授 小口広太 氏)
・四街道市内取り組み紹介(畠楽農園／よつかいどう福祉会／四街道市)
・トークセッション+質疑応答

お問い合わせ先
地域共創部 産業振興課
担当:黒岩
☎ 043-421-6134

食と農が支え合うあたらしいかたち : CSAでつくる地域循環

2026年2月20日(金)

14:00~16:30(13:30開場)

四街道市文化センター 3F 301・302

第1部

小口 広太 氏 (千葉商科大学人間社会学部准教授)

講演 「みんなでつなぐ食と農のみらい」

◎講師: 小口 広太 氏

おぐち こうた
千葉商科大学人間社会学部准教授
1983年、長野県塩尻市生まれ。
日本農業経営大学校専任講師
を経て現職。専門は食と農の社会学。
食と農をつなぐ仕組みづくりに着目し、
有機農業や都市農業の現場でフィールドワーク
に取り組んでいる。主な著書に
『日本の食と農の未来』(光文社)、
『有機農業:これまで・これから』(創森社)、
『農の力で都市は変われるか』(コモンズ)などがある。

第2部

四街道市内での取り組み紹介

登壇: 畑樂農園、社会福祉法人よつかいどう福祉会
四街道市産業振興課

みんなでトークセッション+質疑応答

nof! ノフとは

Next(新しい) / Open(ひらかれた) / Field(社会の可能性)に“!”
(小さな驚き)を足す、というコンセプトをもとにはじまった
プロジェクトです。「食」と「農」を「福祉」でつなぎ、地域の中で
支え合いが回るしくみを育てていきます。

前払い・定期受け取りで農家を支える CSA(地域支援型農業)
に、福祉の力(農福連携)を掛け合わせ、畠を中心に行がゆるや
かにつながる“新しい農のかたち”をつくります。

食・農・福祉に関わる方はもちろん、地域や社会との関わりを増やしたい方も、ぜひご参加ください

参加
方法

- 申し込みフォーム (QRコード) からお申込みください
- フォーム入力が難しい方に限り、お電話で受付ます

お申し込みはコチラ

043-312-0183 / 社会福祉法人よつかいどう福祉会・宮本



食と農が支え合うあらしいがたち : CSAでつくる地域循環

第1部 14:20~15:20 (60分)

講演 「みんなでつなぐ食と農のめぐい」

▪ 講師: 小口 広太 氏 (千葉商科大学人間社会学部准教授)

第2部 15:30~15:50 (20分)

四街道市内での取り組み紹介

▪ 登壇者: 河野 さつき (畠楽農園)
宮本 英恵 (社会福祉法人よつかいどう福祉会)
日比野 龍太 (四街道市産業振興課)



はたらく
畠楽農園・河野さつき

四街道市吉岡で、農薬・化学肥料不使用の野菜を育てている。福祉事業所と協力して「農福連携」を推進している。

社会福祉法人よつかいどう福祉会



2026年 2月20日 (金)

14:00~16:30 (13:30 開場)

四街道市文化センター

3F 301・302

アクセス



(四街道市大日 396)

- JR 総武本線四街道駅から徒歩約 15 分
- 四街道駅北口から京成バス「千代田団地行」「白井駅経由京成佐倉行」で「市役所前」下車徒歩 3 分
- 車でお越しの方は、「文化センター駐車場」および「市役所第3駐車場」をご利用ください。近隣の商業施設等への駐車はご遠慮ください。

障がいのある仲間たちが、地域の中で・地域のために・地域に必要とされる(愛される)社会をつくることを理念に、日々地域に根差した活動を展開している。nof!には、「生活介護はちみつ」と「四街道市福祉作業所」の仲間たちが農作業の働き手として、「CCC 地域貢献事業部」がコーディネーターとして参画している。

15:50~16:20 (30分) みんなでトークセッション+質疑応答

nof!

2025年から、畠楽農園とよつかいどう福祉会が連携し、農作業の協働や試験的な販売、アンケート等を通じて、CSA(前払い・定期受取)の導入に向けた準備を進めています。モデルの舞台を千代田保育所(千代田地区)とするのは、送迎動線の中で無理なく受け取れるため、子育て世帯の毎日に「ちょっと助かる」を届けやすいからです。あわせて、高齢者にとっても若い世代とかかわるきっかけになり、世代を超えた交流が生まれやすい拠点になると考えています。今後は、受け取り方法・頻度・価格などを実証の中で検証しながら改善を重ね、農業体験も企画するなど、「食」「農」「福祉」が自然につながる地域循環の仕組みとして、市内への展開も見据えて育てていきます。

お問い合わせ

社会福祉法人よつかいどう福祉会
CCC(地域貢献事業部)・宮本
📞 043-312-0183
✉️ ccc@yotsukaidofukushikai.com



お申し込みはコチラ

